

# あきやま子どもクリニックニュース2021年8月号

コロナ禍での夏休みも2年目です。今年はオリンピックが開催されていることで、家族で一緒に楽しまれているのではないかと思います。4年に1度のスポーツの祭典が東京で開催されていることを実感していただきたいと思います。



## 院長より

### 「RS感染症」

2歳までに100%の乳幼児が感染しますが、感染しても免疫(抗体)は十分できず、その後も生涯にわたり何度も感染を繰り返します。

感染を繰り返すうちに症状は軽くなり、年長児～成人は、くしゃみ・鼻水、軽いせき程度の「ちょっとかぜ気味」としか感じなくなります。今夏からの爆発的な流行の原因は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行の影響で、昨年1年間はRSVが流行せず、十分な感染免疫(抗体)を持たない子どもたちが増えたためと考えられます。



## 最近の流行っている病気

RSウイルスや高熱が続く風邪が流行しています。また、嘔吐下痢症も見られます。どれも対象療法で治療します。突発性発疹や水痘もあります。

新型コロナ感染の疑いがあるときはPCR検査を行っています。

## Mama&Baby

「なかなか予約が取れない」、「やっと利用できました」とおっしゃるママ達が増えています。市での広報と実際ご利用いただいた方達が他のママに宣伝してくれるなど口コミも重なり、2を開所したばかりの頃と比べると利用希望の方が増えています。多くの方にママベビを知って頂けたことは非常に嬉しい反面、予約が取りにくく利用希望のママ達には本当に申し訳なく思っています。予約獲得必勝法は残念ながら私もまだ見つけられていませんが、予約がとれなかった場合もし可能であればキャンセル待ちをご予約ください。利用が可能な状態になった場合こちらからご連絡差し上げています。ご連絡は利用日前日のこともあります。頑張っている多くのママ達が安心してゆっくり過ごす機会が少しでも増えるよう調整していきますので、ぜひ諦めずにご予約いただけたらと思っています。

(文責 松本光子)



## 訪問看護ステーション

あきやま保育室とケアルームの年長さんたちのお泊まり保育に、訪問看護を行なっているK君に付き添い、参加してきました。K君は24時間人工呼吸器をつけています。自分では動いたりはずりずり移動するのはお手伝いが必要です。自宅とは違う環境で、お泊まりをすることに心配はありましたが、あけび組のみんなの優しさや元気に囲まれて、K君の視線も忙しそうに動き、みんなのおしゃべりを聞いていたり、しっかりと参加していました。長い時間を一緒に過ごし、Kくんのたくましさも感じられる一日でした。

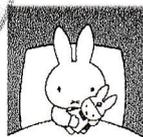
(文責 梅田可愛)

## 病児保育室便り

今月はお子さんのかわいいエピソードを紹介します。

先日、2歳の男の子が本棚から「ねないこだれだ」の絵本を見つけてスタッフに「よんで」と持ってきました。読み始めておばけが登場すると「こわい」と言って両手で目をかくしました。そして「おばけなんていないさ、おばけなんてうそさ～」を歌い始めました。最後まで歌って絵本も終わると「もう1回言って」と言われ、再度読むとまた歌っていました。

(文責 千葉美香)



かかりつけ医に登録している方(ゴールドカードの方)は、9月よりインフルエンザの事前予約を開始します。HPで御確認下さい。一般の方は10月からの予約になります。

## 今月の代診と休診

27日(金) 午後診療 宗像先生

木曜日早朝・午前診療は濱野先生、午後診療は宗像先生です。

夏休みは8月9日～22日です。  
23日から通常通りです

